

6. 事業内容

(ア) 安全な水へのアクセスの向上

A. 学校における貯水タンク及び校舎の建設

貯水タンク設置（対象学校数：2校、合計数：2基、内訳：ガンガンガ中学校：1基／チオザ中学校：1基）（裨益者数：約260人）

2つの中学校（ガンガンガ中学校／チオザ中学校）にそれぞれ1基ずつ貯水タンクを設置する。貯水タンクは、第2期の事業で建設された4校舎のうち2校舎に備え付けられる。校舎の屋根に雨樋を取り付け、そこから雨水が貯水タンクに流れ込むようにする。なお、完成後には貯水タンクの専門家と共に作成した維持管理に関するマニュアルを各校の School Development Committee(以下「学校開発委員会」)のメンバーに対して配付し、貯水タンクの専門家を講師として、維持管理に関するトレーニングを行なう。また、各校の学校開発委員会とゴクウェ・ノース地区の行政が、維持管理に関して必要に応じて連携できるように、両者の関係を強化していく。

B. コミュニティにおける浅井戸の設置及び修繕（33区：5基（修繕）／34区：5基（新設））（裨益者数：約2,200人）

2つの区で10基の浅井戸を設置または修繕する。なお、設置及び修繕終了後、Ministry of Health and Child Care（以下「保健省」）と共に作成した維持管理マニュアルを各井戸の水管理委員会に配布し、保健省の職員を講師として維持管理に関するトレーニングも行なう。また各井戸の水管理委員会とゴクウェ・ノース地区の行政が、維持管理に関して必要に応じて連携できるように、両者の関係を強化していく。

(イ) 衛生環境の改善

A. 学校におけるトイレ建設（対象学校数：5校、合計数：10棟、内訳：グラ小学校／ネバナ小学校／ニューマイン小学校／ガンガンガ中学校／チオザ中学校にそれぞれトイレ2棟を建設する。）（裨益者数：約1,470人）

5つの小学校／中学校にそれぞれトイレ2棟（男子用1棟、女子用1棟）を建設する。1棟あたり5つの個室トイレを備え付ける。なお、建設後には保健省と共に作成した維持管理マニュアルを各校の学校開発委員会に配付し、保健省の職員を講師として、維持管理に関するトレーニングを行なう。そして各校の学校開発委員会とゴクウェ・ノース地区の行政が、維持管理に関して必要に応じて連携できるように、両者の関係を強化していく。

C. 参加型保健及び衛生に関する教育、及びその既習者コースの実施

（直接裨益者数（トレーナー）：約230人、間接裨益者数：約4,100人）

第2期に実施した「既習者コース」研修の参加者が担当するヘルス・クラブの活動を引き続き実施する。ヘルス・クラブは、8つの小学校／中学校と8区、9区、33区及び34区のコミュニティでそれぞれ週1回行なわれ、2015年5月下旬までにすべてのカリキュラムを一度終える予定である。

7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など

① これまでの事業における成果（実施した事業内容とその具体的成果）

（ア）安全な水へのアクセスの向上

A. 学校における貯水タンク及び校舎の建設校舎建設

第1期では、3つの小学校（ネバナ小学校／ニューメイン小学校／ガンガンガ小学校）で2校舎ずつ建設し、合計6校舎が完成した。現在、6校舎あわせて約1,300人の生徒によって利用されている。なお、各小学校の学校開発委員会のメンバーに対して Ministry of Local Government, Public Works and National Housing（以下「現地行政」）の職員を講師として、校舎の維持管理に関するトレーニングを行なった。

第2期では、2つの中学校（ガンガンガ中学校及びチオザ中学校）で、現在、4つの校舎の建設を進めている。建設工事は、2014年4月下旬に始まり、2014年8月末時点で4つの校舎とも天井の高さまで壁ができた。4つの校舎とも2014年10月末に完成する見込みである。なお、完成後には、第1期と同様に各中学校の学校開発委員会のメンバーに対して現地行政の職員を講師として、校舎の維持管理に関するトレーニングを行なう予定である。また、第1期に完成させた校舎も含めて、各校の学校開発委員会とゴクウェ・ノース地区の行政が、維持管理に関して必要に応じて連携できるように、両者の関係を強化していく予定である。

貯水タンク設置

第2期において、3つの小学校（ネバナ小学校／ニューメイン小学校／ガンガンガ小学校）で合計5基の貯水タンクの設置工事を進めている（ネバナ小学校：2基、ニューメイン小学校：1基、ガンガンガ小学校2基）。1基目の設置工事は、建設作業員への研修も兼ねて2014年6月中旬にニューメイン小学校で始まり、2014年7月末に終了した。2014年7月末からガンガンガ小学校にて2基の貯水タンクの設置工事が進められており、2014年9月初旬までに完成する予定である。その後、ネバナ小学校にて2つの貯水タンクの設置工事を進め、2014年10月末までにすべての貯水タンクが完成する予定である。なお、完成後には貯水タンクの専門家とともに作成した維持管理に関するマニュアルを、各校の学校開発委員会に配布し、貯水タンクの専門家を講師として維持管理に関するトレーニングを行なう予定である。さらに、各校の学校開発委員会とゴクウェ・ノース地区の行政が、維持管理に関して必要に応じて連携できるように、両者の関係を強化していく予定である。

B. コミュニティにおける浅井戸の設置及び修繕

第1期では、8区、9区及び33区にて合計21基の浅井戸の設置及び修繕を行なった（新設：15基／修繕：6基）。現在、住民約4,700人によって利用されている。なお、設置及び修繕終了後、各井戸の水管理委員会に対して、保健省の職員を講師として、維持管理に関するトレーニングを行なった。また、保健省と共に作成した維持管理マニュアルを各井戸の水管理委員会に配布する予定である。また、各井戸の水管理委員会とゴクウェ・ノース地区の行政が、維持管理に関して必要に応じて連携できるように、両者の関係を強化していく予定である。

(イ) 衛生環境の改善

B. 学校における手洗い場の設置

第2期において、保健省のゴクウェ・ノース地区事務所と手洗い場設置に関して再度協議した結果、Tip-Tap と呼ばれるモデルの手洗い場が現地の状況により適していると判断し、Tip-Tap の手洗い場を各校に5基ずつ設置を行なうことになった。9月末に、5校に対してそれぞれ5基の手洗い場を設置する予定である。

C. 参加型保健及び衛生に関する教育、及びその既習者コースの実施

第1期では、水・衛生分野の専門機関とともに参加型保健及び衛生に関する教育の普及を図った。具体的には、8つの小学校／中学校及び8区、9区、33区及び34区のコミュニティから選ばれた105人の参加者（トレーナー）に対して研修を行ない、それぞれのトレーナーがヘルス・クラブと呼ばれるグループを組織し、週1回のペースで半年間にわたってクラブの参加者に水・衛生及び保健に関する知識を伝えた。このヘルス・クラブの活動を通して約2,100人の小学校／中学校の生徒及び住民が水・衛生及び保健に関する知識を得た。

第2期では、2014年5月から水・衛生分野の専門機関と「既習者コース」の内容及び進め方に関して調整を進めてきた。9月中旬までに学校及びコミュニティから参加者（主に第1期の研修を受けたトレーナー）を選定し、9月下旬から研修を行なう予定である。その後、これらの参加者（トレーナー）が学校やコミュニティにおいて、生徒や住民への啓発活動を行なう。

② これまでの事業を通じた課題・問題点

9月下旬より開始する予定である「既習者コース」研修は、コミュニティ以外に6つの小学校／中学校（グラ小学校、ネバナ小学校、ニューマイン小学校、ガンガンガ小学校、ガンガンガ中学校及びチオザ中学校）の教員も対象としている。しかし、今年に入って Ministry of Education, Sport and Culture（以下「教育省」）のゴクウェ・ノース事務所の方針が変わり、国際 NGO 及び現地 NGO が小学校及び中学校の教員に研修を行なう許可を得ることが難しくなった。ゴクウェ・ノース地区で実施されている他の ADRA Zimbabwe の事業は、2014年6月に2度にわたって教育省に対して教員への研修許可申請を行なったが、許可が降りなかった。そのため、本事業でも許可を得るのが難しいとみている。

③ 上記②に対する今後の対応策

現在教育省のゴクウェ・ノース地区事務所と協議している。また教育省の本省に許可申請を出す予定である。もし許可が降りない場合は、当初の予定していた人数よりコミュニティからの参加者（トレーナー）の数を増やし、それらの参加者（トレーナー）が、放課後などの時間を利用して、生徒に知識を普及させる予定である。

<p>8. 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>(ア) 安全な水へのアクセスの向上</p> <p>A. 学校における貯水タンク及び校舎の建設</p> <p>(成果) 2校において合計2基の貯水タンクが完成し、合計約260人の生徒及び教員が感染症の流行が深刻になる雨季(3~4ヶ月間)に安全な飲み水を確保できるようになり、また手洗いなどを行なえるようになる。</p> <p>(事業前の状況) 事業実施前には、それぞれの学校周辺に安全な水を確保するための水源がなく、生徒及び教員は安全な水を利用できていない。</p> <p>(指標) 雨季にすべての生徒及び教員が安全な水を利用する。</p> <p>B. コミュニティにおける浅井戸の設置及び修繕</p> <p>(成果) 合計10基の浅井戸が設置/修繕され、約2,200人の住民が恒常的に安全な水を確保できるようになる。</p> <p>(事業前の状況) 事業実施前には、住民の多くが川や適切に整備されていない井戸を利用しており、安全な水を利用できていない。</p> <p>(指標) 水質検査が飲料に適していると判断され、浅井戸周辺に住む80%以上の住民が利用する。</p> <p>(イ) 衛生環境の改善</p> <p>A. 学校におけるトイレの設置</p> <p>(成果1) 合計10棟(5校に各2棟建設)のトイレが完成し、約1,470人の生徒及び教員が安全に排泄できるようになる。</p> <p>(成果2) 排泄物による感染症の流行が抑えられる。</p> <p>(事業前の状況) 事業実施前には、ガンガンガ中学校にはトイレはなく、生徒及び教員のほとんどが野外で排泄を行なっている。その他の4つの小中学校にはそれぞれトイレがあるが、保健省が定めた基準(男子22人あたり1基、女子25人あたり1基)の基準を満たしておらず、十分な数のトイレを確保できていない。</p> <p>(指標) すべての生徒及び教員がトイレを利用する。</p> <p>C. 参加型保健及び衛生に関する教育、及び既習者コースの実施</p> <p>(成果1) ヘルス・クラブの参加者約4,100人がトレーニングを通して得た知識を実践することによって、家庭内や学校で下痢や感染症にかかる人の数が減り、その状態を維持することができるようになる。</p> <p>(成果2) ヘルス・クラブの活動が半年間のカリキュラムを終えた後もヘルス・クラブのメンバーを代えるなどして続けられ、水・衛生及び保健の知識がより広範囲に普及する。</p> <p>(事業前の状況) 事業実施前においても、ヘルス・クラブの参加者の多くは水・衛生及び保健に関する一定程度の知識を持っている。しかし、すべての知識がきちんと定着しているとはいえず、知識の定着化を再度測る必要がある。また、衛生知識を長期</p>
---------------------------	--

にわたって普及させていくために、ヘルス・クラブを長期にわたってつづけていくための知識や技術を身に付ける必要がある。

(指標) トレーナーから訓練を受けたものが理解度を測るテストで 70% 以上正答する。